ふれあいの祭典

ふれあいフェスティバルin神戸

10月16日(土)・17日(日)開催

毎年1回、兵庫県内の各地域持ち回りで開催している「ふれあいフェスティバル」。新型コロナウイルスの感染拡大により、学生や地域団体等の活動発表の場が失われるなか、令和3年度は蓄積されたブランド力や多彩な芸術文化が息づく神戸から、感染症対策を徹底した県民交流イベントを通じて、神戸やひょうごの元気を広く発信します。

【日時】10月16日(土)・17日(日)各日10時～16時

【入場料】無料

◇ご来場の皆さまへ

感染症対策として、マスクの着用や入場口での検温、コロナ追跡システムへの登録等のご協力をお願いします。

ステージイベント

▼16日(土)

オープニングセレモニー

演奏（神戸市消防音楽隊）ほか

全県ふれあいステージ

スティールパン（ファンタスティックス）、太鼓（和太鼓集団ホッと太鼓）ほか

▼17日(日)

地域ふれあいステージ

神戸地域の団体や、大学生など地域の若者によるダンス、吹奏楽などのパフォーマンス

出展ブース

神戸や県内各地のユニークな活動の紹介、特産品の販売コーナーなどを出展

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、プログラムの変更や中止の可能性があります。詳しくは、特設サイトをご確認ください。

【場所】メリケンパーク（神戸市中央区波止場町2）

【アクセス】JR・阪神「元町駅」、阪急「花隈駅」より徒歩約15分、神戸市営地下鉄・海岸線「みなと元町駅」より徒歩約10分

【問い合わせ】ふれあいフェスティバルin神戸実行委員会事務局（当日のお問い合わせ）☎078・362・7379

【特設サイト】https://hyogo-fes.jp

当協会会長に 齋藤元彦新知事が就任

齋藤元彦会長

第53代兵庫県知事になられた齋藤元彦新知事に、このたび当協会会長にご就任いただきました。

齋藤会長は兵庫県神戸市出身で、昭和52年生まれの43歳。東京大学卒業後、総務省を経て、さる7月18日の知事選挙で当選し、兵庫県知事となられました。

兵庫県立考古博物館

秋季特別展

屋根の上の守り神

― 鴟尾（しび）・鯱（しゃちほこ） ―

10月2日～11月28日

鴟尾・鯱は建物頂部のひときわ目立つ位置に置かれた屋根飾りです。鳥の羽をイメージした鴟尾は古代寺院などに、龍のような顔をした魚を表現した鯱は城の天守などに使われました。

普段は屋根の上にあるために目に触れる機会が少ないですが、丁寧な表現や華麗な装飾を身近に感じていただき、寺院や城郭の建物の象徴でもある鴟尾・鯱の変遷と、そこに込められた人々の想いを感じてください。

展示解説を10月24日(日)、11月14日(日)に開催（当日受付、各日13時30分から）。観覧券をお持ちの方はどなたでもお聞きいただけますので、ぜひご参加ください。

【会期】10月2日(土)～11月28日(日)

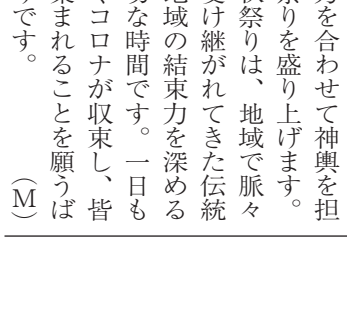
【開館時間】9時～17時（観覧は9時30分～17時、入場は16時30分まで）

【休館日】月曜日

【観覧料】大人500円（当協会会友の会会員は400円）、大学生400円、70歳以上250円、高校生以下無料

【場所】兵庫県立考古博物館☎079・437・5589

【プレゼント】チケットを抽選で5組10人に。応募方法は本紙3面。13日(水)必着


鴟尾 高丘3号窯出土
県指定文化財 明石市蔵

鴟 尾

明石市西部に所在する須恵器や瓦を焼いた窯跡から出土したもので、残存状況がよく、古代の鴟尾の形を知ることができる数少ない例のひとつです。表面の主な文様をヘラで線引きする簡略な表現のもので、沈線文鴟尾と呼ばれています。沈線文鴟尾は東播磨地域で多く分布するほか、四天王寺（大阪市）にも供給されていたと考えられています。

県立兵庫津ミュージアム

初代県庁館

11月3日（水・祝）開館

初代県庁館　長屋門

初代兵庫県庁舎が置かれた〝始まりの地〟の兵庫津（ひょうごのつ）に、復元施設と博物館で兵庫県の成り立ちなどを発信する拠点「県立兵庫津ミュージアム」の整備が進められています。11月3日には、幕末維新期に設置された最初の兵庫県庁舎を復元した「初代県庁館」がオープンします。来年度下期に、博物館施設「ひょうごはじまり館」が開館する予定。

初代県庁館は、1868（慶応4）年の兵庫県誕生とともに県庁が置かれた、元の大坂町奉行所管轄の兵庫勤番所の建物を復元した施設。当時の知事執務室を含む県庁舎、旧同心屋敷のほか、仮牢やお白州などが再現され、最先端技術を活用したバーチャルツアーで幕末維新のドラマが体験できます。

開館日当日にはオープンと連携して、一遍上人ゆかりの真光寺や新川運河など兵庫運河周辺で「兵庫津JAZZ LIVE & 兵庫五国マルシェ」を開催。「2021兵庫運河祭・兵庫津武将祭～平清盛903歳祭～」も同日開催され、兵庫津を盛り上げます。

【開館時間】10月～3月／9時～17時、4月～9月／9時～18時

※入館はそれぞれ閉館の30分前まで

※開館日当日は13時から一般開放

【休館日】月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始（12月31日、1月1日）

【入場料】無料

【場所】神戸市兵庫区中之島2丁目1-17

【アクセス】神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前駅」より徒歩約5分

【問い合わせ】兵庫津ミュージアム整備室☎078・362・4004

兵庫陶芸美術館

秋のおもてなし

兵庫陶芸美術館では、地元丹波焼の里で開催予定の「秋の郷めぐり」期間中（10月7日(木)～24日(日)）の各土曜日（9日、16日、23日）に丹波焼小皿をプレゼントします（展覧会ご観覧者各日先着50名様）。

10月16日(土)・17日(日)には丹波焼の里ボランティアグループ陶芸文化プロデューサーによる作品展示・販売等も開催。

11月28日(日)までの土日祝日には丹波焼の里と篠山城下町を結ぶ直通バスが運行。行楽シーズンの丹波篠山をぜひお楽しみください。

ビルゲル・カイピアイネン「パラティーシ」プレート 他　1969-1974年アラビア製 陶所 ヘルシンキ市立博物館蔵　Photo/ Yehia Eweis

特別展「ザ・フィンランドデザイン展―自然が宿るライフスタイル―」開催中

フィンレイソン社やマリメッコ社のテキスタイルからアルヴァ・アアルト、カイ・フランクら巨匠たちの名品まで、世界中の人々を魅了し続けるフィンランドデザインが一堂に会します。

【会期】11月28日(日)まで

【開館時間】10時～18時、入館は17時30分まで

【休館日】月曜日

【観覧料】一般1000円（当協会会友の会会員は800円）、大学生800円、70歳以上500円、高校生以下無料

【場所】兵庫陶芸美術館（丹波篠山市今田町上立杭4）☎079・597・3961

こだま

十月に入ると私の住んでいる地域では、五穀豊穣に感謝し、悪疫・災難払いを願うものとして布団太鼓のほか神輿、獅子舞などが秋祭りを彩ります。

祭りの主役である布団太鼓とは、担ぎ棒の上に幕や巨大な布団を屋根に積み重ねた太鼓台で、幕の内側で乗り子が太鼓を叩いて神社や地域を練り歩きます。

なぜ布団を乗せたのかは「神様が座れるように」などと諸説ありますが、よく分かっていないようです。また地区によってそれぞれ特色があり、布団の重ね枚数や、色が赤や黒と違うものから、最上段の布団の四隅を反り上げたものもあります。

九月になれば乗り子になる子ども達の太鼓やお囃子の練習が始まり、実際の演奏を見聴きさせてからスタートします。大人も教えていますが、子供たちは先輩の真似をして次第に覚えていきます。

祭り本番には、普段遠方に住んでいる人も、子どもの頃に祭りで感じた嬉しさ、懐かしさに自ずと引きつけられ、お盆、正月に帰省できなくても、地元に帰ってきて皆が力を合わせて神輿を担ぎ祭りを盛り上げます。

秋祭りは、地域で脈々と受け継がれてきた伝統と地域の結束力を深める大切な時間です。一日も早くコロナが収束し、皆が集まれることを願うばかりです。（M）

～新進芸術家に発表の場を!!～

新進芸術家育成プロジェクト リサイタルシリーズ

兵庫県民会館けんみんホールで開催

将来の活躍が期待される若手アーティストに発表の場を提供するとともに、気軽に良質な音楽を楽しんでいただく「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」を毎月１回、兵庫県民会館けんみんホールで開催しています。

上田 智子

10月 Vol.40
上田 智子 ピアノリサイタル
【日時】10月22日(金)18時30分
【出演】ピアノ／上田智子
【予定曲目】ショパン／即興曲 第4番 嬰ハ短調 作品66「幻想即興曲」、ポロネーズ 第6番 変イ長調 作品53「英雄ポロネーズ」ほか
【入場料】一般3000円、大学生以下1000円

桝 貴志

11月 Vol.41
桝 貴志 バリトンリサイタル
【日時】11月5日(金)18時30分
【出演】バリトン／桝貴志、ピアノ／小柳るみ
桝 貴志＝奈良県出身。大阪音楽大学声楽科卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。第37回イタリア声楽コンコルソ・ミラノ大賞、第27回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位等 受賞多数。新国立劇場はじめ国内主要プロダクションに出演の他、NHK-FM、NHK-BS等メディアへの出演も重ねている。
【予定曲目】R.クィルター／シェイクスピアの詩による3つの歌、C.ミレッカー／喜歌劇『ガスパローネ』より 深紅のバラ、G.ヴェルディ／歌劇『ファルスタッフ』より 夢かまことか? ほか
【入場料】一般3000円、大学生以下1000円
＊いけばな／熊原恵甫(未生真流)

12月 Vol.42
鯛中 卓也 ピアノリサイタル
【日時】12月17日(金)18時30分
【出演】ピアノ／鯛中卓也

鯛中 卓也

明石市出身。東京藝術大学、同大学大学院修士課程、ポーランド国立ビドゴシチ音楽アカデミー修士課程修了。国内外のコンクールにて入賞、演奏会への出演を重ね、後進の指導にも積極的にあたっている。現在、東京藝術大学非常勤講師、ソニーCSLミュージック・エクセレンス・プロジェクトアシスタント講師。
【入場料】2000円
＊いけばな／井上理奈子(池坊)
◇◆◇
【場所】兵庫県民会館けんみんホール
＊チケットは兵庫県民会館1階フロントで購入いただけます。当協会友の会会員は入場料が1割引になります。購入時に会員証をご提示ください。

読者プレゼント
11月の公演（桝貴志）のチケットを3組6人に。
会員特典
友の会会員を11月の公演にご招待。5組10人に。
☆いずれも応募多数の場合は抽選。応募方法は本紙3面。10月13日(水)必着

ふれあいの祭典
県民文化普及事業

10月の Event Guide

ふれあいの祭典―県民文化普及事業が県内各地で開催されます。どなたでも鑑賞できますが、整理券が必要なイベントにつきましては、お問い合わせのうえ、ご参加ください。

▼ひょうご名流舞踊の会
【日時】3日(日)11時～18時（予定）
【場所】神戸国際会館こくさいホール
【入場料】5000円
【問い合わせ】兵庫県舞踊文化協会☎078・362・7086

▼詩のフェスタひょうご
【日時】3日(日)13時30分～16時30分
【場所】神戸市教育会館大ホール
【入場料】無料
【問い合わせ】詩のフェスタひょうご実行委員会☎078・241・3086

▼ひょうご日本民謡フェスティバル
【日時】9日(土)12時～16時30分
【場所】新長田ピフレホール
【入場料】無料
【問い合わせ】ひょうご日本民謡フェスティバル実行委員会☎078・861・4583

▼兵庫県いけばな展（神戸展）
【日時】前期／14日(木)～16日(土)10時～20時（最終日は17時30分まで）、後期／17日(日)～19日(火)10時～20時（最終日は17時まで）。入場は閉場の30分前まで
【場所】大丸ミュージアム〈神戸〉
【入場料】700円※高校生以下無料
【問い合わせ】兵庫県いけばな協会☎078・341・7711（内）2584

▼ひょうご洋舞フェスティバル
【日時】30日(土)18時
【場所】県立芸術文化センターKOBELCO大ホール
【入場料】指定席5000円（前売4500円）、自由席4000円（前売4000円）
【問い合わせ】兵庫県洋舞家協会☎078・362・7086

▼ひょうご吟剣詩舞道祭
【日時】31日(日)10時～18時
【場所】あましんアルカイックホール
【入場料】無料
【問い合わせ】兵庫県吟詠連盟FAX078・361・3336

令和元年のひょうご洋舞フェスティバル

地域と暮らしの兵庫学 聴講生を募集

田辺眞人先生の人気講座「地域と暮らしの兵庫学～兵庫県とオリンピックの歴史から～」の聴講生（1回券）を募集します。

全日程の受講が難しい方や、特定の回の講座だけ受講したいという方にうれしいお知らせです。これまで4回セット券の受付をしておりましたが、まだ席に余裕があるため1回券を取り扱うことになりました。皆さまのお申込みをお待ちしております。

4回セット券も同時募集中です。詳細はお問い合わせください。

※国や県の定めた感染症拡大予防対策の方針に従い開催いたします。

※咳エチケット、マスク着用、手指の消毒、検温などにご協力ください。

【日時・内容】10月21日(木)14時／近代阪神間の街づくりから、11月18日(木)14時／文明開化の背景、1月20日(木)14時／日本初のマラソン大会、3月17日(木)14時／オリンピックと嘉納治五郎
【場所】兵庫県民会館けんみんホール
【受講料】聴講（1回券）／一般1200円、会員600円
※受講には事前申込みが必要です。受講料は講座当日に受付でお支払いください。
【募集人数】各回30人（先着順。定員になり次第締め切り）
【申込方法】氏名（ふりがな）、〒住所、電話番号、友の会会員の方は会員番号をご記入のうえ、電話、FAX、Eメールで当協会までお申込みください。
【問い合わせ】当協会文化振興部まで

SNSでも情報発信中!
ソーシャルネットワーキングサービス
動画配信はこちらをチェック!
YouTube ユーチューブ
Instagram インスタグラム
facebook フェイスブック
twitter ツイッター
兵庫ゆかりのアーティスト動画を配信中!
ユーチューブチャンネルに登録をお願いします!

新しい友の会会員特典が加わりました!

友の会の魅力の充実を目指して、県内各財団や施設と提携を進めているところですが、このたび新たに宝塚市文化財団と提携し、同財団が指定する主催事業について優待価格でご参加いただけるようになりました。

特典対象の事業は、すずかけ等で順次お知らせします。

JR・阪急宝塚駅すぐの宝塚ソリオホール

お申し込み お問い合わせは
文化振興部
〒650-0011神戸市中央区下山手通4-16-3
☎078・321・2002
FAX 078・321・2139
メール sinkoubu@hyogo-arts.or.jp
(公財)兵庫県芸術文化協会
https://hyogo-arts.or.jp

現代書の総合展
第74回 飛雲展
と き 令和3年10月15日(金)～17日(日)
10時～17時（最終日は16時まで）
ところ 原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館 王子分館）
（神戸市灘区原田通3-8-30）☎(078)801－1591
主 催 飛雲会
後 援 兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会
(公財)兵庫県芸術文化協会・(公財)神戸市民文化振興財団
神戸新聞社・奎星会・兵庫県書作家協会
飛雲会 〒651－0095神戸市中央区旭通5－3－12 竹下ビル3F ☎(078)261－2575

催物情報
イベントガイド

☆記事中の「友の会会員」は兵庫県芸術文化協会友の会会員。割引は原則として本人のみ適用。

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名②希望枚数（2枚まで）③〒住所④氏名⑤電話番号⑥友の会会員の方は会員番号⑦メッセージを明記し、ハガキかFAXで送付。
＊応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

〒650−0011 神戸市中央区下山手通4−16−3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係
FAX 078-321-2139

＊応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会で厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

㊐＝開催日、㊡＝休館日
(時)＝開館時間、(料)＝入場(館)料金
(内)＝内容、(出)＝出演者・団体
(場)＝会場、(問)＝問い合わせ先

新型コロナウイルス感染拡大の状況により掲載内容が変更される場合がございます。お出かけの際には各施設等へご確認ください。

兵庫県民アートギャラリー
☎078・321・2131

■第4回 王鷲書道会展〈2階〉㊐10月2日(土)〜3日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)書約120点
■2021名筆研究会展〈2階〉㊐10月6日(水)〜10日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)書約50点
■第30回 青砥会日本画展〈2階〉㊐10月6日(水)〜10日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)日本画約60点
■第32回 MOA美術館神戸児童作品展〈2階〉㊐10月16日(土)〜17日(日)(時)16日は13時〜17時、17日は10時〜16時(料)無料(内)児童画約400点
■第57回 兵庫県職員作品展〈2階〉㊐10月20日(水)〜24日(日)(時)10時〜18時、最終日は〜12時(料)無料(内)絵画、書、工芸、彫刻、写真等約100点
■第23回 神戸青蓮社仏画と絵画展〈2階〉㊐10月21日(木)〜24日(日)(時)10時〜16時30分、初日は12時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)絵画約15点
■第36回 美術クラブ「創」展〈1階〉㊐10月27日(水)〜31日(日)(時)10時〜18時、初日は11時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)絵画約30点
■第18回 KSC OB楽画会展〈2階〉㊐10月27日(水)〜11月1日(月)(時)10時〜17時、初日は13時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)絵画、陶芸約80点
■第3回 蒼空の会書展〈2階〉㊐10月29日(金)〜31日(日)(時)10時〜18時、29日は16時〜19時、最終日は〜17時(料)無料(内)書約130点

ひょうごアーティストサロン
☎078・321・2005

■兵庫県民会館ロビーコンサート
〈1階ロビー〉**塚本芙美香ピアノコンサート**㊐10月9日(土)14時(料)無料(出)ピアノ/塚本芙美香＊いけばな/西村翠雲(兵庫県いけばな協会/佳生流)
■兵庫の工芸壁面を飾る〈1階サロン内〉㊐10月1日(金)〜11月30日(火)(時)10時〜17時、最終日は〜16時㊡水・日曜日(料)無料(内)兵庫県工芸美術作家 市野元和、上原伊織、竹尾壽敏、三谷恵子の作品展示

原田の森ギャラリー
☎078・801・1591

■関西春陽会絵画部展〈本館1階〉㊐10月3日(日)まで(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)洋画約35点
■第49回書ノ友社展〈本館2階〉㊐10月3日(日)まで(時)10時〜17時、最終日は〜15時30分(料)無料(内)書約300点
■公募第43回青朝会日本水墨画展〈東館1・2階〉㊐10月3日(日)まで(時)11時〜17時、最終日は〜15時(料)無料(内)水墨画約120点
■第40回記念　龍美会展〈東館1階〉㊐10月5日(火)〜10日(日)(時)10時〜17時30分、初日は12時〜、最終日は〜16時30分(料)無料(内)洋画、日本画、その他約90点
■公募 第26回 二元会兵庫支部展〈本館1・2階〉㊐10月6日(水)〜10日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)洋画、日本画約160点
■大野純生写真展 IMAGING Mt. ROKKO —わが愛しの六甲山—〈東館2階〉㊐10月6日(水)〜10日(日)(時)10時〜18時、最終日は〜17時(料)無料(内)写真約100点
■id展 '21〈東館1階〉㊐10月12日(火)〜17日(日)(時)10時〜18時、初日は13時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)洋画、総合、その他約50点
■ルナ・フローラ展　2021 ジュンコ人見のはなクラフト〈東館2階〉㊐10月13日(水)〜17日(日)(時)10時〜16時、最終日は〜15時(料)無料(内)工芸約50点
■第74回飛雲展〈本館1・2階〉㊐10月15日(金)〜17日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)書約400点
■京都芸術大学通信教育部卒業生 第14回MARBLE展〈東館1・2階〉㊐10月19日(火)〜24日(日)(時)10時〜17時、初日は13時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)絵画、染織、陶芸約50点
■第34回全国シルバー書道展 第18回ファミリー書展〈本館1・2階〉㊐10月23日(土)〜24日(日)(時)10時〜17時、最終日は〜16時(料)無料(内)書約4250点
■第11回神戸市シルバーカレッジ 写真クラブOB会作品展〈東館1階〉㊐10月26日(火)〜31日(日)(時)10時〜17時、初日は13時〜、最終日は〜16時(料)無料(内)写真約120点
■第46回こうべ芸文美術展〈本館1・2階〉㊐10月27日(水)〜31日(日)(時)10時〜17時30分（入場は17時まで）、最終日は〜15時(料)無料(内)書、洋画、版画、日本画、写真、工芸、デザイン、彫刻、いけばな、その他約200点
■日本共産党兵庫県文化後援会 第13回作品展〈東館2階〉㊐10月27日(水)〜31日(日)(時)10時〜18時、最終日は〜16時(料)無料(内)書、洋画、日本画、水墨画、写真、工芸、デザイン、いけばな、彫塑、その他約100点
■Space 〜こころの居場所〜〈本館障害者アートギャラリー〉㊐10月3日(日)〜12月24日(金)(時)10時〜18時(料)無料(内)洋画、写真、その他約10点

横尾忠則現代美術館
☎078・855・5607

■横尾忠則の恐怖の館
㊐令和4年2月27日(日)まで(時)10時〜18時、入場は17時30分まで㊡月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)、12月31日(金)〜1月1日(土)(料)一般700円(友の会会員は550円)、大学生550円、70歳以上350円、高校生以下無料※予約優先制(内)都会ではありえない深い闇や、神秘的な体験の数々が色濃く反映される横尾の多彩な作品を通じて、「芸術」と「恐怖」の関係性について考察します。担当学芸員が展覧会の見どころを分かりやすく解説するキュレーターズ・トークを会期中毎月第3土曜日に開催しています。今月は16日(土)(時)14時(場)オープンスタジオ(料)無料（先着30名）。ぜひご参加ください。
◆オープンスタジオ・コンサート
〈1階〉**アコーディオンで聴く少〜し怖い音楽会**㊐10月10日(日)14時(料)無料(要観覧券)(出)461モンブラン（森裕介、山下カナ）(内)エルチョクロ、人生のメリーゴーランド、エンターテイナー、ちょっと怖いビートルズ

神　戸

■かくかくしかじか展
㊐10月3日(日)〜10日(日)(時)10時〜17時、初日は13時〜、最終日は〜16時㊡10月5日(火)(料)無料(内)兵庫県日本画家連盟が県立明石高校美術科と初コラボ。モノトーン画面をテーマに、日本画の色の魅力が感じられるスクエア作品展を開催します。連盟会員約50名と若いパワーの共演をお楽しみください。(場)(問)**KAVC(神戸アートビレッジセンター)**☎078・512・5500

日本洋画コレクションを核に　絵がつづる人間模様　特集展示—彫刻家のデッサン
㊐10月12日(火)〜12月19日(日)(時)10時〜18時、入館は17時30分まで㊡月曜日(料)一般400円、65歳以上200円、大学生以下無料(内)近代から現代にかけて多彩な展開を繰り広げてきた日本洋画の変遷や、画家たちが自身の表現を探求した軌跡をご覧きただき、ともに切磋琢磨した画家たちの熱い想いを感じられる展覧会。特集展示として、近・現代の日本の彫刻家のデッサンも紹介します。(場)(問)**BBプラザ美術館**☎078・802・9286★5組10人に。13日(水)必着

川端謹次《洋館の建物》1961

■県内芸術家ロビーコンサート 新湊川ふれあいコンサート
㊐10月18日(月)(時)13時30分(料)無料(要申込、定員30名)(出)フルート/上原かなえ、川瀬礼実子(場)**新湊川ふれあい会館**(問)湊川隧道保存の会☎090・5255・6288
■EXHIBITION KOBE 2021
㊐10月20日(水)〜11月7日(日)(時)10時〜17時㊡月曜日(料)大人100円、70歳以上50円、高校生以下無料(内)フランス・パリ在住の現代美術家 松谷武判氏ら4名による展覧会。(場)(問)**舞子公園・旧木下家住宅**☎078・787・2050

阪神南・北

■県内芸術家ロビーコンサート 木田陽子ピアノコンサート
㊐10月6日(水)(時)12時(料)無料(出)ピアノ/木田陽子(場)(問)**西宮市山口ホール**☎078・904・2760
■第126回展観 漢字の象形—文字の賞玩
㊐10月16日(土)〜11月28日(日)(時)10時〜16時、入館は15時30分まで㊡月曜日(料)一般500円(友の会会員は400円)、大高生300円、中学生以下無料(内)漢字が誕生したのはおおよそ4000年前。それ以来、中国はもちろん日本や朝鮮半島・ヴェトナムなど周辺の国や地域でも使用され、継承されてきました。本展では、殷周時代の青銅器や骨器、唐代以降の鏡など「漢字資料」を通して、漢字の変遷のみならず、その解読・解釈に思考を巡らした学者に寄り添い、政治家や文人たちが込めた古代への憧憬を読みとります。鑑賞講座を10月23日(土)、30日(土)、11月13日(土)、20日(土)に開催。13時30分〜、入館者聴講無料(場)(問)**黒川古文化研究所**☎0798・71・1205

小克鼎と銘文（西周時代）

■第15回記念演奏会 長唄松耀会
㊐11月7日(日)(時)11時(料)無料(内)黒塚、船弁慶、靭猿ほか 全22曲(場)**兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール**(問)東音松浦麻矢☎090・3674・2708

東・北播磨

■特別展 重源上人生誕900年「知られざる浄土寺の至宝　〜来迎会衣装など初公開資料を中心に〜」
㊐10月2日(土)〜12月5日(日)(時)9時30分〜17時、入館は16時30分まで㊡月曜日(料)一般300円、中小生100円※11月3日(水・祝)、11月13日(土)・14日(日)は無料(内)国宝阿弥陀三尊立像・浄土堂で有名な浄土寺の、知る人ぞ知る未指定の文化財や今回初公開の資料などを通して、浄土寺の創建から現在までの歴史をわかりやすく紹介します。(場)(問)**小野市立好古館**☎0794・63・3390
■県内芸術家ロビーコンサート 秋のノスタルジック オルガンピアノコンサート
㊐10月7日(木)(時)11時30分(料)無料(出)ピアノ/加門隆太朗(場)(問)**加西市南部公民館玄関ロビー**☎0790・49・0041

中・西播磨

■県内芸術家ロビーコンサート 市川町文化センターロビーコンサート〜たそがれのひととき〜
㊐10月2日(土)(時)18時30分(料)無料(先着100名)(出)ヴァイオリン/土井美佳、マカフェリギター/伊藤淳介(場)(問)**市川町文化センター**☎0790・26・0969
■県民芸術劇場　ブラックボトムブラスバンドライブ！
㊐10月16日(土)(時)18時(料)大人1500円、高校生以下500円(全席指定)＊小学生以上有料(出)ブラックボトムブラスバンド(場)(問)**山崎文化会館**☎0790・62・5300
■特別展「武士の心得—脇坂家家中に伝わった宝物—」
㊐10月23日(土)〜12月5日(日)(時)9時〜17時、入館は16時30分まで㊡月曜日、祝日の翌日、11月30日(火)(料)一般400円、65歳以上200円、学生100円(内)脇坂氏が龍野に入封して来年で350年。戦国時代から明治時代まで、家臣たちは主君とともに家の存続をかけ戦い、御用を勤めてきました。それらの歴史の証人ともいうべき貴重な資料の数々を、多くの初公開資料を含め一堂に展示します。(場)(問)**たつの市立龍野歴史文化資料館**☎0791・63・0907

但　馬

■ミニ企画展 ちらっとチラシ大広告
㊐11月3日(水・祝)まで(時)9時〜17時、入館は16時30分まで㊡水曜日、ただし祝日の場合は翌平日(料)ミニ企画展のみの観覧は無料(内)昭和30〜40年代に豊岡市内の商店が発行した様々なチラシを古写真とともに展示。当時の商店街の様子を紹介します。(場)(問)**豊岡市立歴史博物館—但馬国府・国分寺館—**☎0796・42・6111

丹　波

■県民芸術劇場 TAMBA SUPER BRASS LIVE vol.6
㊐10月17日(日)(時)14時(料)500円(当日100円増)全席自由＊3歳未満は座席が必要な場合有料(出)ブラックボトムブラスバンド(場)**ライフピアいちじま大ホール**(問)春日文化ホール☎0795・74・1050

淡　路

■開館30周年記念 松帆銅鐸特別展（後期）「弥生のいのり展－兵庫五国の銅鐸1」
㊐10月6日(水)〜11月28日(日)(時)9時〜17時、入館は16時30分まで㊡月曜日(料)大人500円(友の会会員は450円)、大高生300円、中小生150円(内)全国で銅鐸の出土数が一番多いのは兵庫県です。弥生時代の人々が願いを込め、祈りをささげた兵庫県内の銅鐸をシリーズ化して展示紹介いたします。南あわじ市発掘調査展－平成30・31年度調査－も11月28日(日)まで同時開催中。(場)(問)**南あわじ市滝川記念美術館玉青館**☎0799・36・2314

ピッコロ寄席「桂 吉朝 一門会」

上方落語の本格派・故桂吉朝の弟子たちによる一門会。師匠の名を遺し、芸を継ぐ競演にご期待ください。

【出演順・演目】「牛ほめ」弥壱、「ヨほめ」しん吉、「愛宕山」よね吉、中入、「紙入れ」あさ吉、「ねずみ」吉弥

【日時】12月19日(日)14時

【場所】ピッコロシアター大ホール

【入場料】一般３０００円、高校生以下１５００円（全席指定）

桂 あさ吉

桂 よね吉

桂 吉弥

魅力発信動画を公開中

ピッコロシアターの事業の全体像や、知られざる魅力を3つの動画でご紹介！ いずれも3～5分で、気軽にご覧いただけます。

【ピッコロシアター編】
ナレーション／車 貴玲（ピッコロ劇団員）
＊日本語字幕・手話／英語字幕付き

【ピッコロ演劇学校・舞台技術学校編】
【兵庫県立ピッコロ劇団編】
案内役／鈴木あぐり、谷口 遼（いずれもピッコロ劇団員）

谷口 遼

鈴木 あぐり

ピッコロシアター
https://piccolo-theater.jp
兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます（本人のみ、事前予約・要会員証）
アクセス
■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分
■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分
お申し込み お問い合わせは
☎06･6426･1940

↓ここからご覧いただけます

新型コロナウイルス 感染拡大防止 ～お客様へのお願い～
◆来場される際は、マスク着用、手指消毒、検温などにご協力ください。
◆37・5度以上の発熱がある方やマスク着用のない方は、ご入場をお断りする場合があります。
◆発熱や風邪の症状のある方や体調がすぐれない方は、来場をお控えください。
◆来場時に、「兵庫県新型コロナ追跡システム」へのご登録をお願いいたします。
◆感染状況の変化によって、急遽、公演の中止や内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

兵庫県立芸術文化センター 10月発売予定公演

9日(土)発売

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場
グリム兄弟！ ～みんなのメルヘン きかせてダンケ～

グリム童話でおなじみのキャラクターが、歌や踊り、笑いに乗せてメルヘンの旅をお届けします。

【作】早船 聡（サスペンデッズ）
【演出】平井久美子（ピッコロ劇団）
【音楽】園田容子

近藤芳正 Solo Work「ナイフ」

近藤 芳正

近藤芳正がすべての登場人物を演じ分けるソロプロジェクト。たったひとりで、父親、母親や子ども、教師まですべての登場人物を演じます。

息遣いや姿勢、筋肉の動かし方で性別や年齢を演じ分け、新たなひとり芝居を創作します。

短編の名手、重松清のベストセラー小説「ナイフ」には、親と子という社会の最小単位の関係で繰り広げられる、人間精神の機微が丁寧に描かれています。

傷ついた親子の愛と再生の物語を、どうぞご期待ください。

【原作】重松 清『ナイフ』（新潮文庫刊「ナイフ」所収）
【脚本・演出】山田佳奈（□字ック）
【フィジカルコーチ】大石めぐみ
【出演】近藤芳正
【日時】令和4年2月11日（金・祝）14時
【場所】阪急 中ホール（芸術文化センター）
【入場料】一般４０００円、高校生以下２０００円（全席指定）

兵庫県立芸術文化センター
アクセス
■阪急西宮北口駅南改札口スグ（連絡デッキで直結）
■JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）
お申し込み お問い合わせは
☎0798･68･0255
（10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日）
http://www.gcenter-hyogo.jp

2021年8月 ピッコロシアター公演より

【出演】森 好文、橘 義、金田萌果、吉村祐樹、鈴木あぐり、風太郎、杏華、森 万紀、今仲ひろし、木村美憂、吉江麻樹、谷口 遼、岡田 力
【日時】12月25日(土)15時、26日(日)11時・15時
【場所】阪急 中ホール（芸術文化センター）
【入場料】一般３０００円、高校生以下１５００円、セット券（一般＋高校生以下）４０００円（全席指定）
※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料。
※12月25日(土)15時の回は、舞台の両サイドに日本語字幕が付きます。

日本オペラプロジェクト2022 歌劇「夕 鶴」

（全1幕／日本語上演・字幕付）

１９５２年の関西初演以来、海外も含めて８００回を超える公演回数を誇る、まさに日本を代表するオペラ「夕鶴」。

２０１３年、２０１８年公演で人間の心の機微を豊かに描き上げ、深い感動を与えた岩田達宗が再び演出。

指揮は新進気鋭の粟辻聡。つう役は石橋栄実と老田裕子、東西のオペラで活躍する今が旬の歌姫二人が演唱します。

【作】木下順二
【作曲】團伊玖磨
【指揮】粟辻 聡
【演出】岩田達宗

石橋 栄実

老田 裕子

粟辻 聡

岩田 達宗

チケットを購入されるお客様へ
新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。
※マスクを着用されていない方はご入場できません（マウスシールド不可）。
※平熱より1℃以上、もしくは37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
※座席は、業種別ガイドラインに基づき、隣席を空けない配席で販売します。
※来場者情報を把握するため、芸術文化センターでのチケットのご購入は芸術文化センター先行予約会員の登録（無料）が必要です。 お一人様2枚（グリム兄弟！～みんなのメルヘン きかせてダンケ～のみ4枚）までとさせていただきます。
※掲載の情報は、やむを得ない事情により、中止・変更になる場合がございます。最新の情報につきましては、当センターウェブサイト等をご確認ください。
※公演が中止・延期になった場合、購入者の方には、先行予約会員に登録されているメールアドレスに、メールでお知らせいたします。

10日(日)発売

兵庫芸術文化センター管弦楽団 特別演奏会 デビュー35周年 豊嶋泰嗣 バルトークを弾く！

PACコンサートマスター・豊嶋泰嗣のデビュー35周年記念公演。

指揮に広上淳一を迎え、バルトークを奏でます。

美しく、唯一無二の素晴らしい協奏をぜひご覧ください。

【曲目】バルトーク／ヴァイオリン協奏曲 第1番、ヴィオラ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲 第2番、モーツァルト／歌劇「後宮からの逃走」序曲
【出演】指揮／広上淳一（友情出演）、ヴァイオリン・ヴィオラ／豊嶋泰嗣（PACコンサートマスター）、管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団
【日時】12月17日(金)15時
【場所】KOBELCO 大ホール（芸術文化センター）
【入場料】A席３０００円、B席１０００円（全席指定）

©大窪 道治
豊嶋 泰嗣

©Masaaki Tomitori
広上 淳一

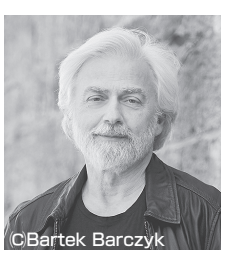
29日(金)発売

クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル

細部に至るまで美しく彫琢された音の粒と、熾烈な情熱で私たちの心を奪う、クリスチャン・ツィメルマン。

ここでしか出逢えない芸術にふれる歓びを、ぜひ、劇場で体感してください。

【曲目】J. S. バッハ／パルティータ 第1番、第2番、ブラームス／3つの間奏曲、ショパン／ピアノ・ソナタ 第3番
※曲目は変更される場合があります。
【出演】ピアノ／クリスチャン・ツィメルマン
【日時】12月9日(木)19時
【場所】KOBELCO 大ホール（芸術文化センター）
【入場料】A席８０００円、B席６０００円、C席４０００円、D席２０００円（全席指定）


©Bartek Barczyk
クリスチャン・ツィメルマン

第286回

素顔拝見

令和2年度兵庫県芸術奨励賞受賞者

陶芸家　若杉（わかすぎ）　聖子（せいこ）　さん

鋳込み技法でシャープな造形

©Tadayuki Minamoto

文化庁新進芸術家の海外研修制度で2015年から1年間、仏で滞在製作。今春の兵庫陶芸美術館での開館15周年記念特別展に出品。国際陶磁器展美濃審査員特別賞、工芸都市高岡クラフトコンペティション奨励賞受賞。三田市では、ゆっくりと自分と向き合って制作でき「精神的な転機になった」という。44歳。

自然豊かな里山や水田に囲まれた兵庫県三田市郊外のアトリエを拠点に、石膏（せっこう）による鋳込み技法で白磁作品を制作する女流作家。洗練されたシャープな造形が特徴で、国内外からの評価が非常に高い。各地での講演やワークショップなどでは、独自の鋳込み技法を披露して陶芸文化普及に貢献。京都市立芸術大学准教授として後進の指導にあたっている。

富山市出身。実家の蔵には古いやきものや工芸品が数多くあり、正月には親戚（せき）が集まり特別な器で食事を楽しんでいたことなどから「今思えばですが、子供心にやきものなどに興味がわいたのかも知れません」。陶芸ができることの一択で、近畿大学文芸学部芸術学科へ。卒業後、やきものへの道があきらめられずに各地で研鑽（けんさん）。まず、滋賀県立陶芸の森で滞在制作中に鋳込みを教わった。そこで出会った多治見市陶磁器意匠研究所（意匠研）の中島晴美先生を追いかけて意匠研を目指すことに。「技術や知識のなさを痛感したからです。全国からの仲間と多くを学びました。どうやって食べていくか、必死でした」。意匠研を卒業後に美濃焼メーカーの会社にデザイナーとして勤務。「今の私にとって、その経験が大きな転機でした。誰かに必要とされるモノを作りたいと強く思うようになったのです」と若杉さん。

「白磁四方鉢」「白磁一輪挿し」2019年
©Tadayuki Minamoto

恩師の紹介もあり岐阜県から三田市に移住して約12年。若杉さんは話す。「私の白い作品は植物の造形からのインスピレーションと、移りゆく陽と月の光、風や水の揺らぎなど日々の感動を作品に映しこもうとする試みなのです」。若杉さんの技法は「泥漿（でいしょう）鋳込み」といわれる。石膏の塊から原型を削り出し、型取り後、泥漿を鋳込み、研磨作業を経て焼成、さらに研磨など行程は多い。兵庫陶芸美術館学芸員のマルテル坂本牧子さんは「若杉さんは量産のため生まれた鋳込みの特性を活かし、鋳込みでしかできない形を自らの造形に引き寄せる作家の一人。デッサンなしで直接、仕上げるのも驚き。シャープな造形がまた一つ、新しい器の可能性を広げたと思っています。芯・意思が強い若杉さん。まだまだ成長できる作家です」と活躍に期待を寄せる。

作品は器、花器はもちろんオブジェまで多彩だ。「ロクロも好きですが、私は一瞬でカタチが決まるスピード感より、ゆっくりカタチを探る鋳込みが合っていると思っています。陶芸を続ける理由？純粋にやきものが好きだからでしょう」と若杉さん。笑顔が魅力的でした。陶芸家を目指す若者には「失敗からの試行錯誤を楽しんで。個性が大事で必要。どんどん海外に出て活動して欲しい」と励ます。受賞と今後の抱負について「兵庫県出身者でない私が兵庫県から立派な賞をいただき素直にうれしく、感謝しています。今後も石膏型での鋳込みにこだわり、型ならではの表現の可能性を追求し、日常を豊かにするモノ作りを目指します」と語った。12月18日から26日まで、岡山県倉敷市の工房ＩＫＵＫＯで個展を開く予定だ。

アトリエにて原型を削る若杉さん
©Tadayuki Minamoto

アートでひょうごを元気に！

下町芸術祭　2021

アートが日常になる下町へ

阪神・淡路大震災から20年を迎えた２０１５年に始まり、神戸市長田区を舞台に2年に1度開催している「下町芸術祭」。

今年は新長田南部だけでなく、丸山地区までエリアを拡大。

これまで当たり前にあった人と人との繋がりが制限される状況下でも、もともと人との社会的距離が近い「下町」だからこそできる、下町の日常に溶け込んだアートをお楽しみください。

神戸にゆかりの深いアーティストによる現代アートを展示する展示プログラムのほか、開催地区の「まち」のことを勉強する講座プログラムや、パフォーマンスプログラムなどを予定。詳細は公式Ｗｅｂサイトをご覧ください。左記の展示プログラムは全て無料で観覧していただけます。

https://shitamachi-art.com/

【会期】10月9日㈯～10月24日㈰※プログラムによって、開催日や時間が異なります。

展示プログラム会場

駒ヶ林エリア／Atelier koma、角野邸、閑居 永門、旧駒ヶ林保育所、ジョブス・ペース・ラボ、駄菓子屋フレンド、二葉じぞう広場 ほか **新長田エリア**／Sobani Omusubi **丸山エリア**／天よし・お食事亭まるやま、バラックリン、丸山アンダーザブリッジ ほか

【問い合わせ】新長田アートコモンズ実行委員会☎０７８・６４７・７４３０

アートでひょうごを元気に！

のせでんアートライン2021

―「光」と「音」と「食」の芸術祭―

「のせでんアートライン2021メインビジュアル」
SPEKTRA©Kousei Ikeda

能勢電鉄（のせでん）沿線とその周辺地域を舞台に、地域の人々とアーティストが一体となってつくる2年に1度の芸術祭。

５回目となる今年のテーマ「Enlarged Mentality ～他者との世界を共有するもの～」に即した芸術作品展示のほか、イベントとしてオンライン音楽祭や野外シアター、地域団体企画によるプロジェクトなどを予定。妙見山の「芸能信仰」「北極星信仰」から着想を得た「音」と「光」を中心とする芸術制作、土地の歴史、風土、民俗に由来し人の手によって丁寧に生み出された「食」や「暮らし」を拡張させる取り組みを展開します。

作品展示　入場無料

【会期】10月30日㈯～11月23日（火・祝）

※妙見山山頂は会期中の金土日祝（22日は開催）、その他の会場は施設営業日による

《招待作家》

◆原摩利彦+津田直㊊妙見山山頂※入場人数制限あり

◆ＳＰＥＫＴＲＡ㊊新瀧公民館※入場人数制限あり

◆藤井達矢㊊日生中央サピエ

《一般公募作家》

◆井橋亜璃紗㊊猪名川町立静思館

◆袁方州（ユアン・ファンジョウ）㊊猪名川町立静思館

◆前田耕平×葭村太一㊊吉川自治会館前広場

◆橋爪皓佐／野営地㊊妙見口駅前

イベント

◆オンライン音楽祭㊐10月30日㈯19時㊎無料㊗Kan Sano、空間現代×吉増剛造、Sawa Angstrom ほか㊍音と映像による音楽ライブ配信。

◆野外シアター㊐11月20日㈯～23日（火・祝）各日17時㊊能勢町 旧東郷小学校校庭㊍「ブンミおじさんの森」「もののけ姫」などを上映予定。キッチンカーで地域の名産品の販売も予定している。

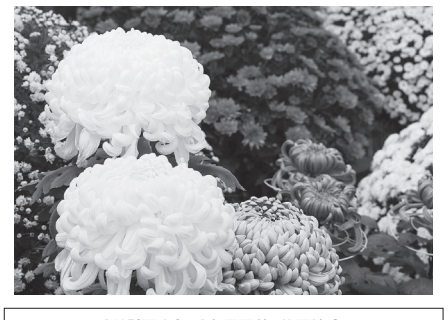
【問い合わせ】のせでんアートライン 妙見の森実行委員会☎０７２・７９２・７７１６ 公式Ｗｅｂサイトhttp://noseden-artline.com/2021/

花咲く秋のいろどりフェア
～ようこそ秋、フラワーセンターの秋～

●ダリア展　10/1 ～ 11/7
●第33回兵庫県どんぐりごま大会　10/9（10:00 ～ 14:00）
●ストレプトカーパス展　10/9 ～ 11/16
●～秋のきらめき～ダイヤモンドリリーと原種シクラメン展
10/12 ～ 10/17（16、17日は販売会を実施）
●第44回兵庫県連合菊花展覧会
10/17 ～ 11/21（菊花展開催期間中は無休）
●寒蘭展　11/12 ～ 11/14

兵庫県立考古博物館 加西分館
古代鏡展示館
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors
TEL 0790-47-2212　FAX 0790-47-2213
（兵庫県立フラワーセンター内）

10/1（金）～11/21（日）



公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会
兵庫県立フラワーセンター
〒679-0187 兵庫県加西市豊倉町飯森1282-1
TEL（0790）47-1182　FAX（0790）47-1561
兵庫 フラワーセンター　検索

阪神南・北

地域の文化情報

阪神地域オープンミュージアム 無料開放DAY

10月１日㈮～３日㈰

阪神間モダニズムの文化を育んだ阪神地域には個性豊かな美術館・博物館などが多数集積しています。これら施設が常設展を中心に３日間限定で無料開放します。

各施設でアンケートに答えるとオリジナルトートバッグがもらえます（数量限定、なくなり次第終了。阪神南エリア・阪神北エリアでデザインが異なります）。

観覧エチケットを守りながら、街の魅力を存分に楽しもう！

【会期】10月１日㈮～３日㈰※各日のみ無料開放の施設もあります。

【場所】尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の美術館・博物館など約35施設

詳細は「あにあん倶楽部」Webサイト https://anian-club.jp/museum2/をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、施設によって休館の可能性もあります。お出かけの際には「あにあん倶楽部」ホームページをご確認ください。

【問い合わせ】兵庫県阪神南県民センター 産業振興担当☎06・6481・7679

令和3年度 伝統芸能等の鑑賞促進事業

『えびすかき』がやって来た！

《芦屋編》

首に下げた箱からえびす人形を取り出して、『めでたい、めでたい』と舞いながら福をまく…えびす宮総本社・西宮神社周辺には、室町時代頃から人形操り師（えびすかき）が住んでいました。彼らの芸が淡路や大阪へ渡り、やがて人形浄瑠璃や文楽へと発展していきます。

明治時代に途絶えた「えびすかき」の芸を復興させた〝現代のえびすかき〟人形芝居えびす座が、福を携えてやって来ます。

【日時】10月31日㈰14時

【内容】▼寿式三番叟、えびす舞、お話し／人形芝居えびす座▼パペット落語とお楽しみ落語／笑福亭笑利

【場所】芦屋神社 参集所（芦屋市東芦屋町20-3）

【参加費】無料（定員40人※応募多数の場合抽選）

【申込方法】左記QRコードからお申込みください。10月15日㈮締切

郵送、FAXまたはメールでも申込み可能です。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】兵庫県阪神南県民センター ビジョン担当☎06・6481・4542

ひょうごの 国宝・重文 そぞろ歩き

優れたデザイン、優美な姿 世紀の大発見、丹波竜の化石

高座神社（丹波市）

高座神社の本殿

丹波市山南町谷川の高座神社は、南に向かって開けた平坦地にある。宮司の田中史夫さん（69）、権禰宜の田中千晶さんに案内してもらった。

田中 千晶さん

重要文化財に指定された理由は、意匠的に優れており顕著な地方的特色を備えているからというものである。カラーで紹介できないのが残念だが、本殿の軒先などに設けられた竜や、ウリ、天女といった彫刻に、鮮やかな彩色が施されている。

神社を辞して、近くの首切地蔵尊にお参りした。

由来によると、寿永２（1183）年のころ、源平の戦に敗れた公家や姫君が丹波路に逃れてきた。落人狩りにつかまり悲運の最期を遂げたのだが、それを哀れんだ地元の人たちが弔ったのが始まりという。

首から上の願い事がかなうとされ、受験生に人気があるそうだ。

首切地蔵尊

山南町和田の丹波市立薬草薬樹公園へ。食事処「おときや」で、昼食に竹かご御膳（1200円、税込み）を食した。

カレイの西京焼きや季節野菜の天ぷら、枝豆ごはんなどを美味しくいただく。

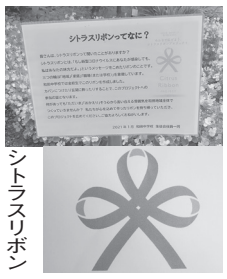
竹かご御膳

山南町和田には300年にわたる薬草栽培の歴史があるという。園内では300種におよぶ薬草薬樹が栽培されている。

園内に、「シトラスリボン」と書いた表示がある。同公園に近い市立和田中学校生徒会一同、と記されている。

シトラスリボンというのは四国の愛媛から始まった運動である。シトラスリボンプロジェクトともいう。

コロナのせいで生まれた差別や偏見を知った愛媛の人たちが、つくった。柑橘類が特産の土地柄にちなみ、その色のリボンやロゴを身に着けることで、ただいま、おかえりという気持ちを表す。もし新型コロナにあなたが感染しても、私はあなたの味方だよというメッセージが込められているという。



シトラスリボン

三つの輪は、地域と家庭と職場（あるいは学校）をあらわし、シトラスは英語で柑橘類を意味する。

和田中学校では全校生がこのリボンをつくった。カバンにつけたり、玄関に飾ったりしてこの運動への参加のあかしとした。

丹波市山南町といえば、恐竜の化石で一躍、全国区となった。

2006年8月、地元の地学愛好者、村上茂さんと足立洌（きよし）さんが町内の篠山層群（前期白亜紀）の地層から、化石を見つけた。

ちーたんの館

実は、世紀の大発見だった。三田市の兵庫県立人と自然の博物館が調査。大型の植物食恐竜とされ、「丹波竜」の愛称が付けられた。その後、2014年に新種とわかり、タンバティタニス・アミキティアエと命名された。

発見現場は、丹波市山南町上滝の篠山川が美しい川代渓谷にあり、誰でも容易にみられる。

左下白っぽく見える所が化石の発見現場

お出かけちょっとメモ

▼高座神社＝丹波市山南町谷川3557。JR福知山線、加古川線の谷川駅から徒歩約25分。車だと舞鶴若狭自動車道の丹南篠山口ICから約20分。☎0795・77・0456

▼首切地蔵尊＝丹波市山南町谷川315。高座神社から徒歩約5分。☎0795・77・2955

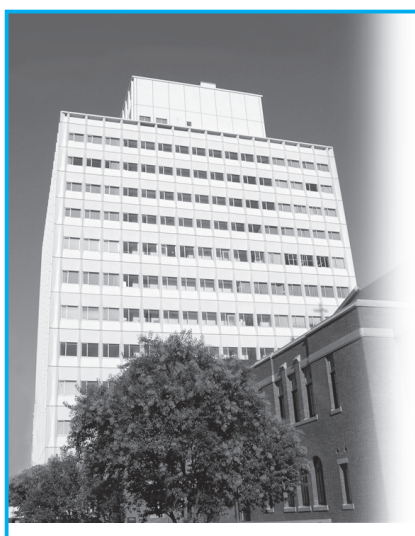
▼丹波市立薬草薬樹公園＝丹波市山南町和田38―1。水曜休館。営業時間はコロナ禍対応あり、要確認。☎0795・76・2121

▼食事処おときや＝同公園の中にある。水曜定休。☎0795・76・2121

▼薬草の湯（丹波の湯と当帰の湯の総称）＝同公園にある。大人600円、中学生以下400円。営業時間は要確認。

▼丹波竜化石工房ちーたんの館＝丹波市山南町谷川1110。10時～17時、11月1日～3月31日は16時まで。月曜休館。高校生以上210円、小中学生100円。☎0795・77・1887

▼丹波竜化石発見現場＝丹波竜の里公園駐車場（丹波市山南町上滝19―1）から西へ徒歩約5分。レンガ造りの旧上滝発電所記念館が目標。JR福知山線下滝駅から東へ徒歩約15分。駐車場は無料。



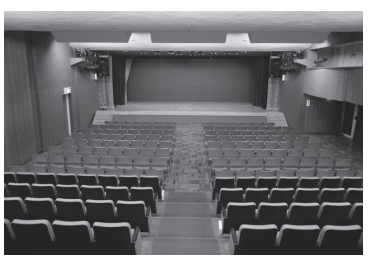
駐車場37台完備（24時間営業）

兵庫県民会館

音楽会、講演会、研修会、展覧会などにご利用いただけます。

9階けんみんホール

定員360名。多彩な利用ができます。



11階パルテホール

定員150名。展示商談会、各種表彰式にも利用できます。

県民会館のSNS発信を始めました。
ギャラリーの展示会情報やご利用案内などをお届けします。

facebook フェイスブック

twitter ツイッター

兵庫県民アートギャラリー情報

○展示パネル、室内照明等リニューアル
○小展示室を拡張し、より広く使いやすく
○バーチャルギャラリー“Walk360”の運用開始
VR技術を活用し、自宅等でパソコン・スマホで、歩いているような感覚で、ギャラリーの展示会がご覧いただけます。

※詳細は、アートギャラリー担当まで（連絡先は右記）

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。

〒650-0011
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【アクセス】
▷地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ
▷JR神戸線「元町駅」・阪神本線「元町駅」下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ
TEL. 078-321-2131
FAX. 078-321-2138
https://hyogo-arts.or.jp

※空室情報はホームページで随時更新中